

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~17:00	
●フリーダイヤル <b>☎ 0120-20-8822</b>	※携帯電話からはご利用になれません。 携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。 ※長くお待ちする場合があります。 お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●北海道支店 TEL (011) 786-5122	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●関西支店 TEL (06) 7167-3644
●東京支店 TEL (03) 5753-7703	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6374-5687	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認  
いただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)  
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99746901 208 G

# HIKOKI

## 取扱説明書

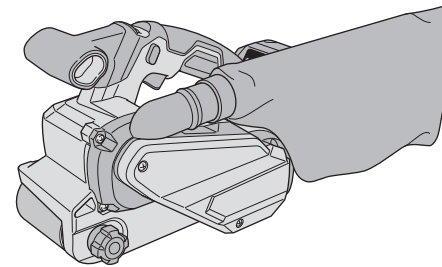
お得な情報や  
ユーザー登録は  
コチラから!



## コードレスベルトサンダ

36 V  
76 mm SB 3608DA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



はじめに	コードレス工具の安全上のご注意… 1
	本製品の使用上のご注意… 5
	リチウムイオン電池の使用上のご注意… 7
	用途… 8
	各部の名称… 8
	仕様… 9
使用方	標準付属品… 10
	別売部品… 11

使用方	研磨ベルトの選び方… 11
	蓄電池の取りはずし・取付け… 12
	研磨ベルトの取付け・取りはずし… 13
	研磨ベルトの位置調整… 14
	スイッチについて… 15
	モード切替機能について… 16
	ダストバッグの使い方… 17
	本製品の特性について… 18
	1充電当たりの作業時間について… 18
	研磨する… 19

その他	保守・点検… 21
	集じん機との接続… 23
	作業後の保管… 24
	ご修理のときは… 裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## ⚠警告、⚠注意、注の意味について

**⚠警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**  
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
  - コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
  - 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
  - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ③ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
- ④ **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。  
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

### ⚠警告

- ⑤ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
  - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
  - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑥ **不意な始動は避けてください。**  
スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑦ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**  
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

### ⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
  - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
  - 安全に責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - コードレス工具を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。  
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。  
発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠️注意

- ⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります
- ⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
  - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ **調整キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- スイッチを入れる前に、調整に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
  - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ⑫ **アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。**
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

## ⚠️注意

- ⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ **コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
  - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
  - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
  - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスベルトサンダについて、次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠警告

- ① 水、研削液などは使用しないでください。  
研磨ベルトの破損や、けがの原因になります。
- ② 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ③ 被削材を手を持って研削しないでください。
- ④ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ⑤ ベルトカバーを取付けて使用してください。
- ⑥ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。
- ⑦ 材料は安定性の良い台に置いて作業をしてください。
- ⑧ 鋼板などの研磨のときは、粉じんは火花となって飛散するので、引火しやすい物、傷付きやすい物は安全な場所に遠ざけてください。また、研磨火花を直接手足などに当てないようにしてください。
- ⑨ 研磨ベルトに割れ、傷などの異常がないことを確認してから使用してください。
- ⑩ 重負荷で長時間鋼板を研磨しないでください。  
熱を持った粉じん、ダストバッグが損傷する恐れがあります。
- ⑪ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑫ 誤って落としたり、衝撃が加わったり、機体に破損や亀裂、変形が生じた場合は使用しないでください。
- ⑬ 金属を研磨する前後は、ダストバッグを掃除し、粉じんを取り除いてください。  
金属の粉じんは発火の原因になります。

## ⚠警告

- ⑮ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
  - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
  - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。  
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑯ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。  
蓄電池を取付けた場合に短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

## ⚠注意

- ① 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。  
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ② 無理に強く押し付けしないでください。  
研磨ベルトの破損や機体の損傷を招くだけでなく、けがの原因になります。
- ③ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ④ グラスファイバーの研磨には使用しないでください。  
機体の寿命が著しく低下します。
- ⑤ 衝撃を加えての研磨、研磨ベルトのサイド接触による切断はしないでください。  
機体に無理な力が加わり、製品寿命が低下してしまいます。また、研磨ベルトが裂ける原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。

## リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。  
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。  
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告マークについて



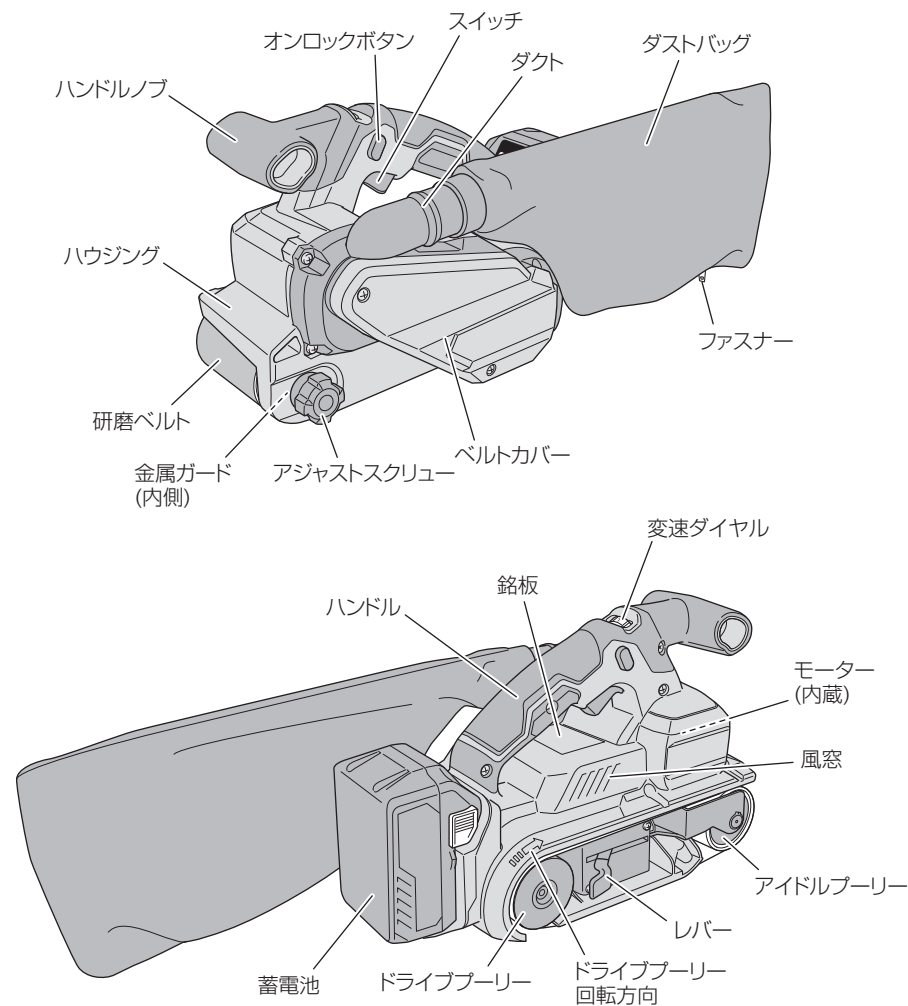
このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、研磨ベルトの交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

## 用途

- 木工製品の研磨仕上げ、フローリング仕上げ
- 木材塗装面の下地みがき
- 金属表面の研磨仕上げ
- 金属塗装面の下地みがき、さび落とし、塗り替えの際の塗料落とし
- コンクリートの表面仕上げ

## 各部の名称



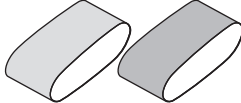
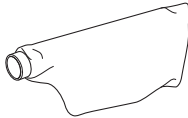
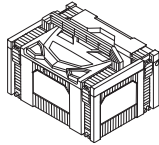

# 仕 様

形 名	SB 3608DA
モ ー タ ー	直流ブラシレスモーター
無負荷ベルト速度	2.0 ~ 7.5 m/s {122 ~ 450 m/分}
研磨ベルト寸法 幅 × 周長	76 × 533 mm
寸 法 長さ × 幅 × 高さ	325 × 150 × 199 mm (BSL 36A18X 装着時)
使用可能蓄電池	マルチボルトタイプ蓄電池
電 池 電 圧	36 V
質 量	4.3 kg (BSL 36A18X 装着時)
振動3軸合成値 <sup>*1</sup>	3.0 m/s <sup>2</sup> <sup>*2</sup>

※1: 振動3軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値)については、  
振動 JEMA [一般社団法人日本電機工業会]  
ウェブサイト: <https://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>  
をご参照ください。

※2: 振動3軸合成値は、EN62841-2-4 規格に基づき測定しています。

# 標準付属品

品 名	仕 様	XPZ	NN
エンドレス研磨ベルト WA # 80 # 120		各1枚	各1枚
ダストバッグ		1個	1個
蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を 確認してください。		1個	—
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を 確認してください。		1台	—
システムケース (No.3)		1個	—
電池カバー		1個	—

## 別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

エンドレス研磨ベルト

幅 76 mm × 周長 533 mm

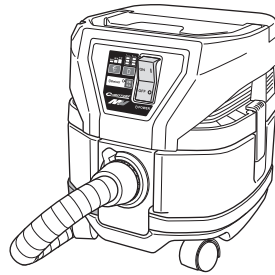
粒度	砥粒の種類	粒度	砥粒の種類
30	AA	150	AA, WA
40	AA, WA	180	AA, WA
60	AA, WA	240	AA, WA
80	AA, WA	320	AA
100	AA, WA	400	AA
120	AA, WA		

**注** 1種類を10枚1箱として販売しております。

集じん機 / コードレス集じん機

本製品は、集じん機に接続して使用することができます。

詳しくは、お買い上げの販売店、または弊社総合カタログを参照してください。



(コードレス集じん機 RP 3608DB)

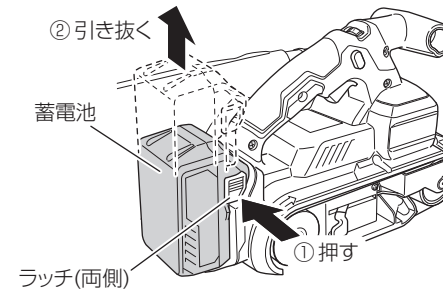
## 蓄電池の取りはずし・取付け

### 警告

蓄電池を取付ける前に、一度スイッチを引き、オンロックボタンが解除されていることを確認してください。

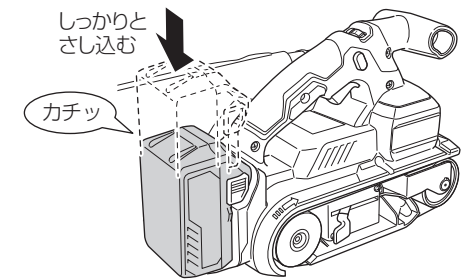
#### 取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



#### 取付けるとき

「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。



## 研磨ベルトの選び方

研磨ベルトは作業に適した粒度、砥粒をお選びください。

市販品も使用できます。幅 76 mm × 周長 533 mm の研磨ベルトを購入してください。

仕上げの程度	粒度
荒仕上げ	30 ~ 40
中間仕上げ	40 ~ 100
仕上げ	80 ~ 240
上仕上げ	180 ~ 400

砥粒	用途
AA	鋼材用
WA	木材、竹材用
CC	非鉄金属、コンクリート、アルミ用

**注** • 粒度は手作業の場合と比べ、荒目の物を選んでください。

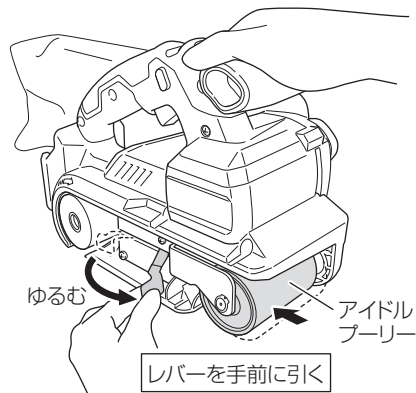
• 被研磨面が一様に研磨されるまでは、同一粒度の研磨ベルトを使用してください。作業途中で粒度の違う研磨ベルトに取り替えると、きれいに仕上がらないことがあります。

## 研磨ベルトの取付け・取りはずし

### ⚠️ 注意

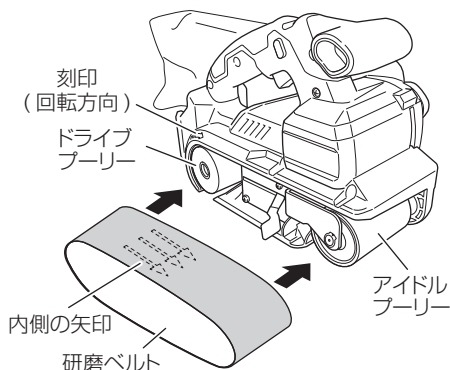
- レバーの開閉時、指を挟まないようにしてください。
- 作業後は、プーリー、およびその周囲が高温になっています。

- 1 機体を押さえ、レバーを手前に引くとアイドルプーリーが内側へ移動し、研磨ベルトの取付けが可能になります。



- 注** 取付け方向を間違えると作業能率が下がり、研磨ベルトの接合部がはがれる原因になります。

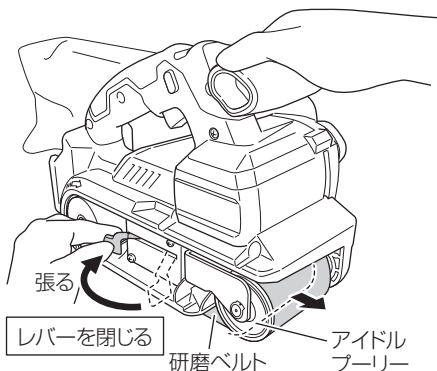
- 2 研磨ベルトは、内側の矢印を機体の刻印に合わせて2つのプーリーに掛けます。



- 3 レバーを閉じると、アイドルプーリーは前方に戻って研磨ベルトは適当な張りになります。

- 4 取りはずすときは、レバーを手元に引くと研磨ベルトの張りがゆるみ、簡単にはずせます。

- 注** 研磨ベルトをはずしたときに、エアガンなどでプーリー周囲の粉じんを除去してください。



## 研磨ベルトの位置調整

### ⚠️ 警告

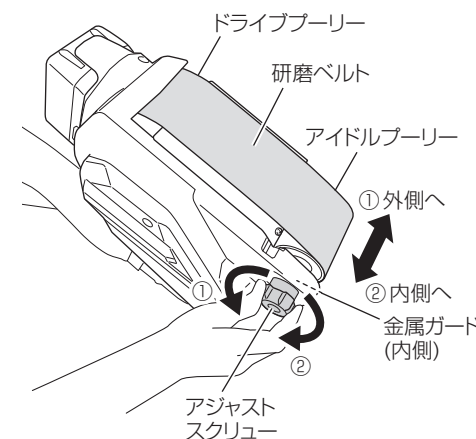
調整中は、研磨ベルトとハウジングの間をのぞき込まないでください。調整中も、保護メガネと防じんマスクを着用してください。研磨ベルトが金属ガードに接触し、火花が出る場合があります。また、粉じんが目に入る恐れがあります。

- 1 あらかじめベルト速度を低速 (変速ダイヤル「1」) にします。(P.16「モード切替機能について」参照)

- 2 スイッチを軽く引き、低速で回転させながら、研磨ベルトの回転位置を確認します。

- 3 アジャストスクリューを回して、回転中、研磨ベルトがドライブプーリー端面から外側に2~3mm出るよう調整してください。

- 注** 研磨ベルトが内側に寄りすぎると、金属ガードに接触して切れやすくなります。



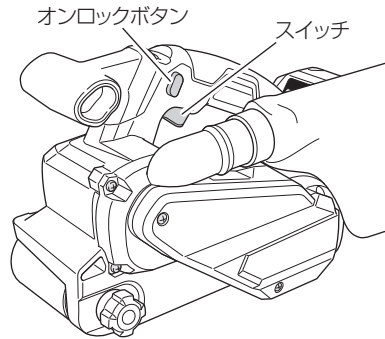


## スイッチについて

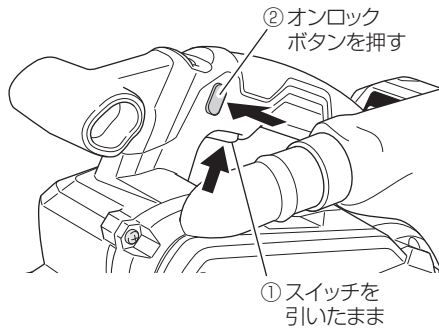
スイッチは、引くと入り、はなすと切れます。

スイッチを引いた状態でオンロックボタンを押すと、指をはなしても動き続ける連続運転になります。

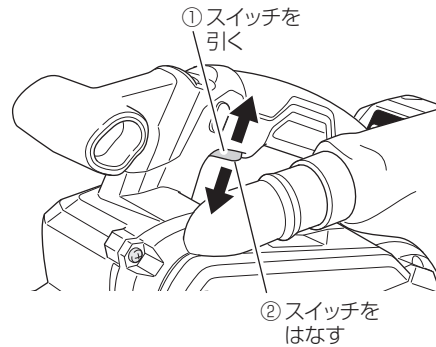
連続運転を解除させるときは、再びスイッチを引いて、はなしてください。



### 連続運転



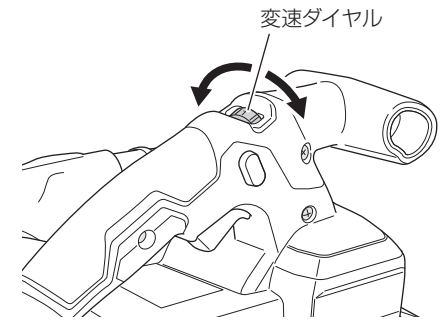
### 解除する



## モード切替機能について

本機には、「変速モード」と「オートモード」の2モードが備えられています。

変速モード	変速モードでは、ベルト速度を5段階に設定できます。 負荷が変化しても、ダイヤルで設定したベルト速度を維持します。
オートモード	モーターの軽負荷時の最高回転数を低くすることで、騒音を抑えることができます。 作業中に負荷が大きくなると、ベルト速度を自動的に引き上げます。 また、負荷が小さくなると、自動的にベルト速度を下げます。



変速モードではベルト速度を変えられます。用途に合わせたベルト速度で使用してください。

モード	ベルト速度		
変速	ダイヤル設定	1	2.0 m/s {122 m/分}
		2	3.7 m/s {220 m/分}
		3	5.2 m/s {310 m/分}
		4	6.7 m/s {400 m/分}
		5	7.5 m/s {450 m/分}
オート	A		2.0 m/s {122 m/分} (軽負荷時)
			7.5 m/s {450 m/分} (重負荷時)

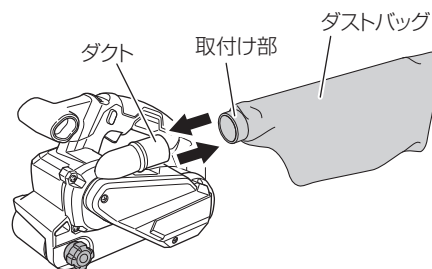
## ダストバッグの使い方

### 警告

- ダストバッグを取付けて使用してください。  
ダクトから粉じんが噴出して、けがの原因になります。
- 金属を研磨する前後は、ダストバッグを掃除し、粉じんを取り除いてください。  
金属の粉じんは発火の原因になります。

#### 取付けるとき

ダストバッグの取付け部をダクトにさし込んでください。

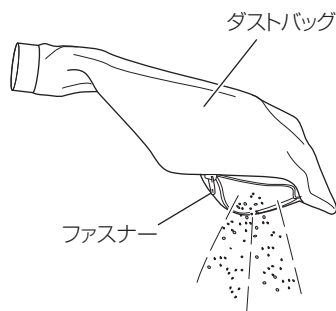


#### 取りはずすとき

ダストバッグの取付け部を持って、ダクトから引き抜きます。

#### 粉じんを捨てる時

ファスナーを開けて、中の粉じんを捨ててください。



**注** ダストバッグの粉じんは、早めに捨ててください。

粉じんがたまりすぎると、集じん力が弱まります。

## 本製品の特性について

本製品では電子制御を行っており、下記のような特性があります。

特 性	内 容
ソフトスタート	起動時の回転数を制御することで、作業への反動を低減します。
ブレーキ機能	スイッチを切るとブレーキが働き、モーターの回転を停止させます。
定回転制御	負荷をかけても回転数を一定に保とうとするため、回転数が下がりにくく、高い作業性が得られます。
過負荷保護機能	作業中一定以上の負荷が加わると、モーターが停止します。機体の押し付けをゆるめて使用してください。
温度保護機能	機体の温度が一定以上になると、制御部の保護のため停止します。機体の温度が下がれば、再び使用できます。
再起動防止機能	スイッチを入れた状態で、蓄電池を工具本体にさし込んでも起動しません。スイッチを一度引くことで、解除することができます。
モード切替機能	P.16「モード切替機能について」を参照してください。

## 1 充電当たりの作業時間について

1 充電当たりの作業時間の目安を示します。  
(作業時間は、木材、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。)

(蓄電池 BSL 36A18X 使用時)

材料(種類)	研磨ベルト粒度	変速ダイヤル	作業時間
ラワン材	80	5	約8分

# 研磨する

- 木工製品の研磨仕上げ、フローリング仕上げ
- 木材塗装面の下地みがき ● 金属表面の研磨仕上げ
- 金属塗装面の下地みがき、さび落とし、塗り替えの際の塗料落とし
- コンクリートの表面仕上げ

## 警告

研磨ベルトに破れ、穴などの異常がないことを確認してから使用してください。

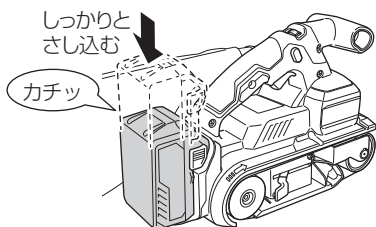
## 注意

- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- 研磨ベルトが回転しているときは、台や床などに放置しないでください。機体が自走して、けがの原因になります。

## 1 研磨ベルトの取付け

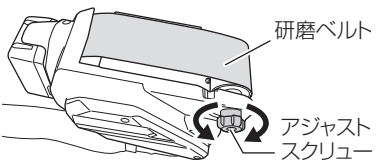
作業に適した研磨ベルトを選定してください。(P.13「研磨ベルトの取付け・取りはずし」参照)

## 2 蓄電池を取付ける



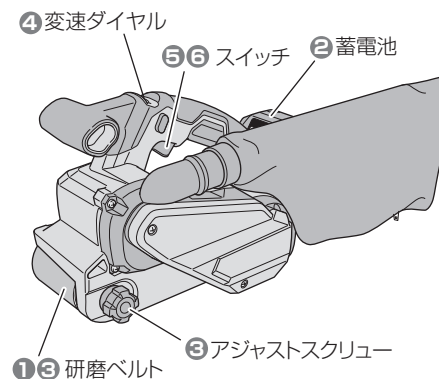
## 3 研磨ベルトの位置を調整する

スイッチを入れ、少し回転させ、研磨ベルトの回転位置を調整します。(P.14「研磨ベルトの位置調整」参照)



## 4 速度を設定する

用途に合わせて研磨ベルトの速度を設定してください。(P.16「モード切替機能について」参照)



## 警告

作業後は、ブリー、およびその周囲が高温になっています。

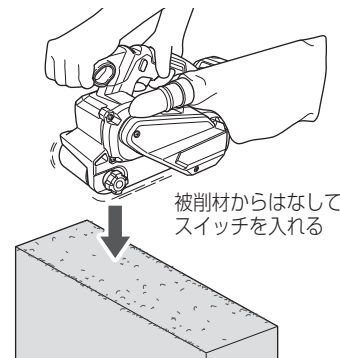
## 注意

- スイッチを入れるときは、研磨ベルトが被削材などに接触していないことを確認してください。
- 研磨ベルトを加工面に強い力で押し当てたり、鋭利な物を押し当てたりしないでください。研磨ベルトが切れる原因になります。

**注** 本製品は材料に対し、軽く当てる程度で使用してください。強く押し付けると能率が悪くなるばかりでなく、寿命も短くなります。

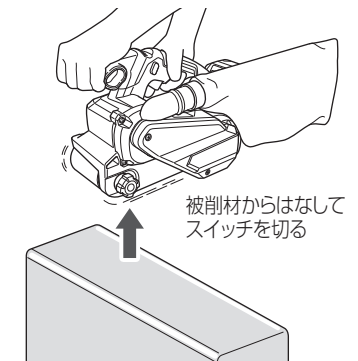
## 5 スイッチを入れる

機体を被削材からはなしてスイッチを入れます。(P.15「スイッチについて」参照) 研磨ベルトの速度が安定したら使用してください。ハンドルとハンドルノブを持ち、研磨ベルトが加工面に対し、一様に当たるよう機体を加工面に押し付けます。機体を手元から前方へ移動し、手元に引き戻すという往復運動をくり返します。



## 6 作業を終了する

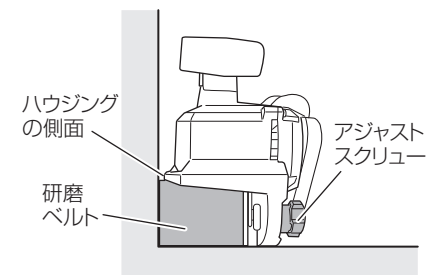
使用後は被削材からはなしてスイッチを切り、回転が止まってから機体を置いてください。



**注** モーターが止まらないうちに粉じんの多い場所に置かないでください。粉じんを吸い込んで、故障の原因になります。

## すみ部の研磨

アジャストスクリューを回し、研磨ベルトがハウジングの側面と一致するようにして作業すると、垂直面真下のすみの部分が研磨できます。



# 保守・点検

## ⚠ 警告

エアガンなどを用いて機体を掃除する際は、防じんマスクと保護メガネを使用してください。  
ごみや粉じんを吸い込んだり、目に入る可能性があります。

## ● 研磨ベルトの点検

研磨ベルトの砥粒が磨滅したり目詰まりしたりすると、研磨ベルトの切れ味が悪くなります。また、研磨能力も落ちるので早めに新品と交換してください。

## ● 機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。  
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。  
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

## ● 清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

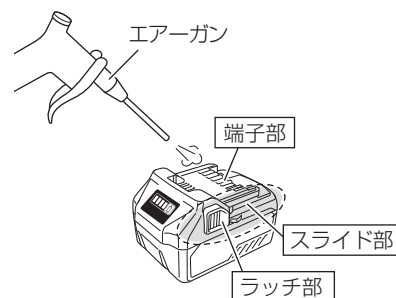
## ● ダストバッグの掃除

作業後はダストバッグを掃除し、粉じんを取り除いてください。

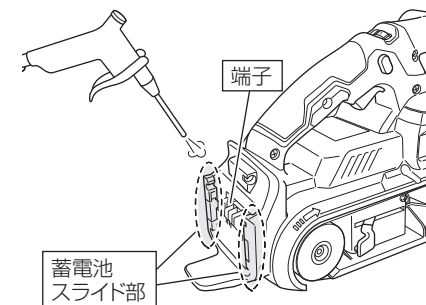
## ● 蓄電池取付部・蓄電池の掃除について

研磨後、右図各部に粉じんが付着した際は、乾いた布やエアガンなどで付着した粉じんを掃除してから、使用してください。

**注** 掃除後、工具本体と蓄電池がスムーズに脱着することを確認してください。



**注** 粉じんが付着したまま使用すると、使用中に蓄電池が落下するなど、事故の原因になります。  
また、蓄電池と端子の接触不良や故障する原因になります。



## ● 端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。  
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

## ● モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）(P.8「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

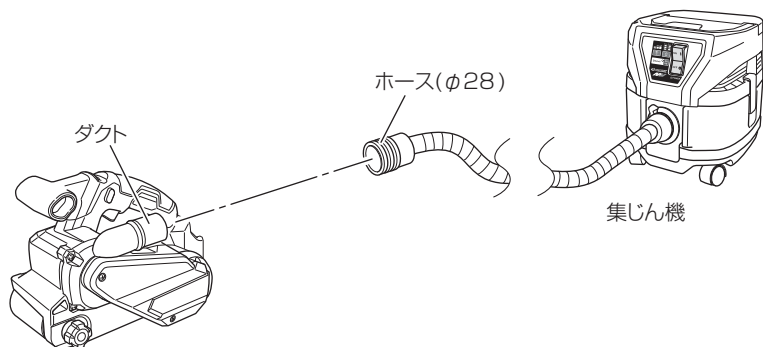
## 集じん機との接続

### 警告

集じん機の使用法、集じんできる粉じんなどについては、集じん機の取扱説明書をよくお読みください。

弊社製電動工具接続用集じん機のホース(φ28)が、機体ダクトに直接接続可能です。

無線連動機能搭載蓄電池を使用すると、本機の電源 ON/OFF で集じん機を連動して操作できます。



## 作業後の保管

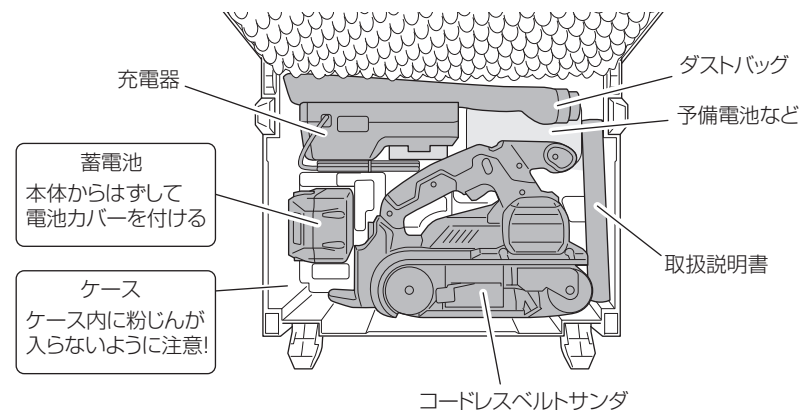
### 機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- 注**
- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
  - 軒先など雨が掛かる場所、湿気のある場所
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

ケースに保管する場合は、下記に注意してください。

- 注**
- 粉じんやほこりを入れないでください。
  - 蓄電池は取りはずし、電池カバーを付けてください。



メ モ

メ モ